

第122回: Young Woman 事件

今秋の10月、中国共産党大会第18回大会が開催され、中国の指導者が10年ぶりに変わることになる。5月16日の読売新聞は、同大会で選任される最高指導者の党政治局常務委員会メンバーに関する10名の候補リストが完成したと報じている。真偽のほどは不明だが後述の10名だそう。

算出根拠は簡単だ。新常務委員は、現在の政治局委員の中から選ばれ、中央委員からの二段階昇級者はないと仮定する。政治局委員はつい最近まで25名だったが、重慶の薄熙来が自分の仕掛けた罠にハマって沈没したため24名となった。そのなかから「68歳定年ルール」で引退するシニア組を控除すれば10名が残る。これ、小学校の算術であり、この10名を見て「オレの予想通りだ」と自慢するチャイナウォッチャーは阿房である。敢えて言えば、1944年12月に生まれ、党大会が開かれる10月時点では未だ68歳に達していない公安担当の王樂泉に、満年齢を適用するかどうかという解釈だけが残る。

この10名を候補者にして10月に差額選挙が行われ、最終的に9名もしくは7名の新常務委員が選ばれるようだ。米国の華字メディアで中国政治に強い多維新聞によると、最近北京に閣僚級幹部や既に引退した長老、巨大国有企業幹部たち約300名が集められ、アンケート調査という名目で、一種の予備選挙が行われたという。選挙では有権者に2枚の投票用紙が配られ、1枚目に5名の常務委員を、もう1枚には10名の政治局委員を記入する要領となっていたという。常務委員を5名記入させた真意は、既に常務委員会入りを果たしている習近平と李克強の2名に新任5名を加え、新常務委員会の定員を7名にすることにある……そんな噂が、いま北京で飛び交っているのである。

共産党大会のクライマックスは、大会終了直後に実況中継される新指導部登場の瞬間である。司会者が彼らの入場を告げると、赤いネクタイを締め満面の笑みを浮かべた新常務委員が、拍手しながら一人一人登場する。問題は誰が、どんな順番(=序列)で、何人登場するかだ。

筆者予想は①習近平(総書記・国家主席)、②李克強(首相)、③俞正声(全人代委員長)、④李源潮(規律検査委員会主任)、⑤汪洋(国家副主席・書記・党校校長)、⑥張徳江(政治協商会議主席)、⑦王岐山(副総理)である。もし定員7名であればこれで決まり、9名であれば劉雲山、劉延東、張高麗の内、二人が当選、一人が泣くことになる。正直に白状すれば微々たる根拠に、共産党の思考パターンを組み合わせ、当てずっぽうで塗り固めたテキトーな予想である。万一この予想がズバリ当たってしまえば、友人知人は皆ドン引きするだろうから、寧ろ外れた方が有難い。

まず習近平と李克強だが、この期に及んで、彼らの序列と担当職務に議論の余地はないだろう。

3位は華麗なる一族の俞正声。太子党の代表人物で、遠く先祖をとぶらへば、湘勇の曾國藩に辿り着く。一族には逸材というか傑物が多く、父親が若いころ情を通じた同棲相手は後の毛沢東夫人の江青。親戚には蒋介石の孫娘と結婚した剛の者もいる。実兄は国家安全部の米国情報課長時代に国家機密を抱え米国へ亡命。こんな一族に囲まれた俞正声が出世できたのは奇跡に近い。本人はハルビン軍事工程学院卒。

4位は共青团系の李源潮。朝鮮戦争が始まった1950年の生まれ。中国が朝鮮に義勇軍を派遣し、全国

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

が熱狂に包まれているさなか、父親は息子を「援朝」と命名した。しかし、本人は朝鮮支援の意を嫌ったのか、同じ発音の「源潮」に変えたという。いま党人事を掌握する組織部長を勤めていることから、共産党員の不正を摘発して睨みを利かせる規検委主任が適任である。

5位も共青团系だ。薄熙来に喧嘩を売った広東の汪洋。若い彼には将来中国のトップに昇る可能性が残されており、副主席に据えて党務を主宰させるのが上策だ。これで共青团派の習近平包圍網は完成する。行政は李克強が、党務は汪洋が主催し、李源潮は大目付である。そして人民解放軍は胡錦濤が続投する。

残る2議席だが、金融に強い王岐山は筆頭副総理で当確だ。残る政協ポストはいつでもよかろう。完全な名誉職であり、北朝鮮への留学経験がある張徳江の可能性が高いが、彼が落選して、プリンセス劉延東が常務委員に就任する可能性も残されている。

劉延東で思い出すのが20年前のハプニング。1992年10月、第14回共産党大会の記者会見の席上、江沢民は内外の報道陣に向かって自ら新常務委員の7名を紹介した。末席の第七位は胡錦濤。江沢民が「この若い人はわずか49歳です」と紹介し、外交部の通訳・馬雪松が英訳すると、会場は爆笑に包まれてしまった。緊張した通訳が「若い人」を「young woman」と訳したからである。これを見た英語の得意な江沢民は大喜びし、自ら訂正役を買って出た。江沢民に間違いを指摘された通訳は、頭の中が真っ白になったようで、再び「young woman」とやっけてしまい、胡錦濤まで噴き出してしまったという逸話がある。

馬雪松は誤訳事件について、次のように釈明している。「あのとき、江沢民と一緒に次々に入場してきた常務委員のなかで、私が知らなかったのは胡錦濤だけでした。彼が共青团の中央書記のころ、私は大学生だったし、そのあと彼は貴州に転出し、会う機会はなかった。江沢民が胡錦濤を紹介したとき、私は彼の顔が誰だか分からず、彼と同じころ共青团で活躍していた有名な女性指導者の劉延東と勘違いし、つい young woman と言ってしまった」

共青团の指導者とは中国の将来の指導者候補であり、胡錦濤は42歳で第一書記に就任した。それほど有名な胡錦濤を、若手エリートが勘違いするくらい、劉延東も若いころから全国区で注目を集めてきた人物である。これまでの党中央の常務委員は全て男性だった。また全員が地方行政官の経験者である。劉延東は女性で、地方トップの経験がない。その意味で彼女が常務委員になる可能性は低いと思われるが、中国という若い国に対して、前例がないからと強弁しても意味はないような気もするのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年5月17日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3